

# 校長室の窓

## No. 2

長かった夏休みが終わり、大きな事故・病気もなく、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきたことをうれしく思います。子どもたちは夏休みの間、それぞれの家庭や地域で大切な時間を過ごし、自分の役割を果たし、一回り大きくなって学校に戻ってきました。御協力に感謝申し上げます。

さて、1日の始業式で子どもたちに以下のことを伝えました。

2学期の始業式にあたり、2つのことをみなさんに伝えたいと思います。それは、1学期と変わらぬ言葉です。みなさんへの願い、そして大切にしてほしいことは変わらないからです。

1つ目は「自分なりの目標を立て、実現のためにこつこつ努力を続けてほしい」ということです。

先程、2・4・6年生の代表の人が2学期にむけての決意を発表してくれました。どの子ども、自分の目標を立て、一生懸命努力することを誓ってくれました。先生たちも一生懸命その実現の手助け、応援をしていきます。

ところで、この夏の一番の話題はリオ五輪でした。日本の選手は大活躍で多くのメダルを獲得しました。みなさんもたくさんの声援を送り、多くの感動をもらったことと思います。しかし、メダルのあるなしにかかわらず、選手たちは五輪に出る、そして、メダルを獲るという目標を立て、血のにじむような努力と練習を積み重ねてきたことを忘れてはなりません。結果は一瞬でも、そこへ至る道のりは果てしなく長いのです。世界一になるためには、世界一の努力が必要なのです。みなさんも自分の目標実現のために、精一杯の努力を積み重ねることができる人になってほしいと思います。

2つ目は「あいさつ、返事がしっかりできる人になってほしい」ということです。

美和小では「時を守り、場を清め、礼を正す」ことを大切にしています。ノーチャイム行動、縦割り清掃、朝のあいさつ、みなさん、学校生活の中でしっかりと実践しています。その中でみなさんに、さらに力をつけてほしいことが、あいさつ・返事です。

友達に、先生に、お客様に、お家の人に、地域の方に、時と場に応じた、おはようございます、こんにちは、ありがとうございますなど、元気で明るいあいさつ・返事、心のこもったあいさつ・返事、思いやりのあるあいさつ・返事をしていますか。

これも、リオ五輪の話ですが、選手の誰もが口にする言葉があります。それは、“支えて下さった、みなさんのおかげ”という言葉です。私たちは、まわりの人とのつながりに支えられて生きています。あいさつ・返事は人とのつながりの第一歩です。大切にしてほしいと思います。

さあ、2学期は運動会、学習発表会、持久走大会など、みなさんが輝く行事がたくさんあります。勉強に、スポーツに、力一杯みなさんが活躍する姿を楽しみにしています。

なお、私事ではありますが、現在、怪我をして入院しております。校長として子どもたちを預かり責任をもって学校教育を進める立場にありながら、誠に申し訳なく思っております。9月もあとしばらく学校を離れますが、その間も教頭を中心に職員が結束して教育に当たって参ります。地域の方々、保護者の皆様におかれましては、相変わりませず学校の教育に御理解、御協力をいただきますようお願い致します。

【校長 前田 健治】